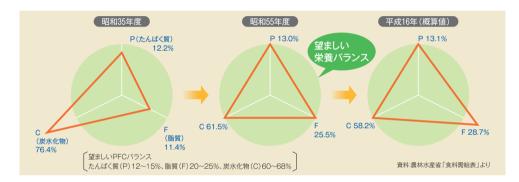
# 今なぜ「富山型食生活」が必要か?

私たちの食生活は、日本の伝統的食生活パターンである「ごはん」を中心に、大豆、野菜、魚な ど身近で生産される素材を用い、しょうゆ、みそ、だしなどで味付けされた副食を組み合わせるも のが典型的でした。このようなパターンに畜産物などが加わり、昭和50年頃には、栄養バランスが 整った健康で豊かな食生活が実現しました。

しかし、その後は、お米の消費が減少する一方で、脂肪の摂取が年々増加するなど栄養バランス の崩れが見られ、最近では、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者が多 くみられ、生活習慣病の増加も大きな課題となっています。

そこで、富山県では、"富山らしさ"を出しながら、美味しい米、新鮮な角介、野菜などの旬の地 場産食材や、地域に伝わる伝統的な食文化を活かした栄養バランスの良い「富山型食生活」を県民 の皆様に実践いただけるよう、(社)富山県栄養十会の協力を得て富山型食生活モデルメニュー(献 立表・レシピ集)を作成しました。



# 「富山型食生活」の ポイントは?

富山型食生活の大きな狙いは「栄養バ ランスの改善」です。その達成にあたっ て、「旬の地場産食材の活用」を図るこ とで地域の農林水産業を活性化していく とともに、「優れた食文化の継承・創造」 を通じて、県民の皆さまに地域への愛着 を深めていただくことを願っています。

さらに、三世代同居世帯が多いなどの 富山県の特徴を活かし、「家族そろった 食事」を通じて、(1)ゆっくり時間をか けて適量食べることや、(2)よく噛んで 消化・吸収などを促すこと、そして(3) 挨拶と楽しい会話によって、食に対する 感謝の念や豊かな人間性を育むことにつ ながっていくことを期待しています。

## コンセプト1

の改善

- 望ましいPFCバランス(ごはん食を中心に)
- ●カルシウム・鉄等の十分な摂取 栄養バランス
  - 十分な食物繊維の摂取(野菜料理など)

  - 抗酸化性食品の摂取(野菜・果実・魚など)

コンセプト3

#### コンセプト2

### 旬の地場産食材の活用

富山ならではの 高品質で新鮮な食材の活用



### 優れた食文化の継承・創造 ■伝統的な食文化などに 秘められた工夫を活かす



#### コンセプト4

### 家族そろった食事

- ●ゆっくり時間をかけて!(滴量)
- ●よく噛んで!
- 検拶と楽しい会話!



# いっぱいあるよ!とやまの旬の食材

富山県は、3000m級の立山連峰から、天然のいけすと呼ばれる水深1000mを超える富山湾まで、 その高低差4000mにおよぶ全国的にも珍しい地形です。海・野・山にまたがるその多様な地形から、 数々の特産物が生み出されています。

# 全国トップクラスの米どころ

富山県では、豊かな水と水田を活かして、稲作を中心とした農業が営 まれています。県を代表する「コシヒカリ」の品質・食味は、全国でも トップクラスの評価を得ています。また、最近では、富山のオリジナル 品種として「てんたかく」も市場に普及し、上々の評価を得ています。

# 新鮮で逸品ぞろいの野菜・果実

野菜・果実は、地域的に点在する形で数多くの種類が生産され、白ね ぎ、日本なしなどは、県外にも流涌・販売されています。新たに育成し た県オリジナルの白ねぎ品種「ねぎたん」は、葉先まで柔らかく、辛味 が少なく甘味が強い特徴があるほか、「富山トマト」は糖度が高く実が しっかりしており、「呉羽なし」の代名詞とも言える品種「幸水」は果 汁が豊富で甘味が強く、人気が高いです。

# 富山といえば"きときと"のお魚

富山湾は「天然のいけす」と呼ばれる好漁場です。ホタルイカ、ブリ、 シロエビ、ベニズワイガニを始め多種多様な魚介類が水揚げされ、定置 網を活かして高鮮度であることも特徴です。特に、ホタルイカやシロエ ビは全国的にも大変珍しく、富山にはこれらを用いた郷土料理(ホタル イカの酢味噌和えなど) もたくさんあります。





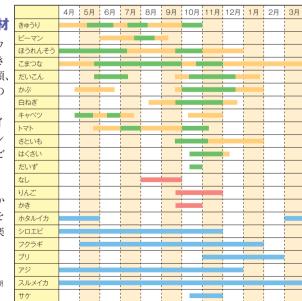


# "春・夏"は多種多彩な新鮮食材

富山では、春から夏にかけて、ホウ レンソウやこまつななどの葉菜類、き ゅうり、トマト、スイカなどの果菜類、 日本なしなどの果実といった数多くの 地場産品が生産・流通します。

また、魚介類では、春先のホタルイ カの水揚げに始まり、これに続いてシ ロエビやアジ・サバ、スルメイカなど 様々な魚種が漁獲されます。

このように、春から夏にかけては、 多種多彩な地場産品が旬の時期をむか え、直売所やインショップなどに足を 運び、朝どれの新鮮食材を探すのも楽 しい季節です。



野菜がとれる時期 野菜がさかんにとれる時期